

# 麻酔・蘇生学

## 1 構成員

	平成21年3月31日現在
教授	1人
准教授	1人
講師（うち病院籍）	2人（2人）
助教（うち病院籍）	6人（4人）
助手（うち病院籍）	0人（0人）
特任教員（特任教授，特任准教授，特任助教を含む）	0人
医員	10人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生（うち他講座から）	6人（0人）
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員（教務職員を含む）	1人
その他（技術補佐員等）	1人
合 計	28人

## 2 教員の異動状況

佐藤 重仁（教授）	（H10. 4. 1～ 現職）
加藤 孝澄（准教授）	（H15. 10. 1～H19. 3. 31助教；H19. 4. 1～現職）
中島 芳樹（講師）	（H16. 1. 1～ 現職）
五十嵐 寛（講師）	（H17. 7. 1～ 現職）
望月 利昭（助教）	（H15. 5. 1～H19. 3. 31助手；H19. 4. 1～現職）
栗田忠代士（助教）	（H10. 4. 1～H19. 3. 31助手；H19. 4. 1～現職）
鈴木 明（助教）	（H11. 11. 1～H19. 3. 31助手；H19. 4. 1～現職）
谷口美づき（助教）	（H19. 2. 1～ 現職）
山口 昌一（診療助教）	（H20. 4. 1～ 現職）
鈴木かつみ（診療助教）	（H20. 11. 1～ 現職）

## 3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成20年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	7編（0編）
そのインパクトファクターの合計	12.13
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	0編

(3) 総説数 (うち邦文のもの)	3編 ( 3編)
そのインパクトファクターの合計	0
(4) 著書数 (うち邦文のもの)	1編 ( 1編)
(5) 症例報告数 (うち邦文のもの)	19編 ( 16編)
そのインパクトファクターの合計	3.6

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

- (1) Suzuki A, Makino H, Sanjo Y, Nakai T, Mochizuki K, Shiraiishi Y, Katoh T, Sato S: A Visual stethoscope for pediatric patient. *Pediatric Anesthesia* 18:332-361, 2008【麻酔・蘇生学】[1.461]
- (2) Kurita T, Takata K, Morita K, Sato S: Lipophilic  $\beta$ -adrenoceptor antagonist propranolol increases the hypnotic and anti-nociceptive effects of isoflurane in a swine model. *Brit J Anaesth* 100(6): 841-845, 2008【麻酔・蘇生学】[2.948]
- (3) Takata K, Kurita T, Morishima Y, Morita K, Uraoka M, Sato S: Do the kidneys contribute to propofol elimination? *British J Anaesthesia* 101(5): 648-652, 2008【麻酔・蘇生学】[2.948]
- (4) Mochizuki T, Sato S: Hypocapnia prolongs bradycardia induced by bupivacaine or levobupivacaine in isolated rat hearts. *Can J Anesth* 55(12): 836-846, 2008【麻酔・蘇生学】[1.8]

インパクトファクターの小計 [9.157]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

- (1) Adachi YU, Yamada S, Satomoto M, Higuchi H, Watanabe K, Kazama T, Mimuro S, Sato S: Isoflurane anesthesia inhibits clozapine- and risperidone-induced dopamine release and anesthesia-induced changes in dopamine metabolism was modified by fluoxetine in the rat striatum: An in vivo microdialysis study. *Neurochemistry International* 52: 384-391, 2008【麻酔・蘇生学】[2.975]
- (2) 足立裕史, 牧野 洋, 三条芳光, 佐藤重仁: 血液型と出血量との関係 - 当院における15,857症例の解析 - *日臨麻誌* 28(7): 929-934, 2008【麻酔・蘇生学】[0]

インパクトファクターの小計 [2.975]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

- (1) Hui Y, Mochizuki T, Kondo K, Uemura K, Sato S: Nitric oxide donor, NOC7, reveals biphasic effect on contractile force of isolated rat heart after global ischemia. *J Anesth* 22: 229-235, 2008【麻酔・蘇生学】[0]

インパクトファクターの小計 [0.00]

### (3) 総 説

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

- (1) 並木昭義, 岩崎 寛, 西川俊昭, 瀬尾憲正, 小川節郎, 佐藤重仁, 土田英昭, 中橋一喜, 平川方久, 森田 潔, 十時忠秀: 長時間作用性局所麻酔薬 塩酸レボブピバカイン(MR8A2)の持続硬膜外麻酔による術後鎮痛における用量の検討 - 第II相臨床試験 - 麻酔と蘇生 44 (Supplement): 119-133, 2008
- (2) 弓削孟文, 村川雅洋, 石山忠彦, 土肥修司, 新宮 興, 畑埜義男, 石部裕一, 澄川耕二, 宮川博司, 佐藤重仁: 長時間作用性局所麻酔薬 塩酸レボブピバカイン(MR8A2) 7.5mg/mlの硬膜外麻酔における臨床的評価 - ロピバカイン塩酸塩水和物を対照薬とした二重盲検比較試験(第III相臨床試験) - 麻酔と蘇生 44(Supplement): 135-149, 2008
- (3) 並木昭義, 表 圭一, 岩崎 寛, 合谷木 徹, 瀬尾憲正, 加藤 実, 佐藤重仁, 土田英昭, 中橋一喜, 森田 潔, 平川奈緒美: 長時間作用性局所麻酔薬 塩酸レボブピバカイン(MR8A2) 2.5mg/mlの持続硬膜外投与による術後鎮痛効果の検討 - ロピバカイン塩酸塩水和物 2.0mg/mlLを対照薬とした二重盲検比較試験(第III相臨床試験) - 麻酔と蘇生44(Supplement): 151-165, 2008

インパクトファクターの小計 [0.00]

### (4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

- (1) 佐藤重仁: 心肺蘇生と脳保護. 専門医のための麻酔科学レビュー2008 - 最新主要文献集 - 204-212, 2008 総合医学社

### (5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

- (1) 中島芳樹, 西野淳子, 五十嵐 寛, 小幡良次, 白石義人, 佐藤重仁: 腰部交感神経節ブロック後に硬膜外血腫をきたした症例. 日本ペインクリニック学会誌 15(1): 39, 2008
- (2) 小幡良次, 小幡由佳子, 足立裕史, 鈴木かつみ, 板垣大雅, 佐藤重仁: 抜管直後に著しい低酸素血症を認めた1症例. 臨床麻酔 32(7): 1243-1244, 2008
- (3) 内崎紗貴子, 鈴木かつみ, 小幡由佳子, 板垣大雅, 足立裕史, 佐藤重仁: ドレッシング交換時の疼痛をレミフェンタニルでコントロールした小児熱傷症例. 臨床麻酔 32(11): 1855-1857, 2008
- (4) 小幡良次, 足立裕史, 五十嵐 寛, 鈴木 明, 小幡由佳子, 土井松幸, 佐藤重仁: 舌扁桃により挿管困難, マスク換気困難となった肥満患者の麻酔経験. 麻酔 57: 1269-1272, 2008
- (5) Obata R, Obata Y, Adachi YU, Sato S: Successful intubation in a patient with extreme lingual tonsil hypertrophy using an intubation laryngeal mask. Acta Anaesthesiologica Scandinavica 52: 1030, 2008【麻酔・蘇生学】[1.8]

インパクトファクターの小計 [1.8]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

- (1) 足立裕史, 鈴木かつみ, 小幡由佳子, 西野淳子, 望月利昭, 土井松幸, 佐藤重仁: 重篤な熱射病から肝不全に至った一症例. 日集中医誌 15: 237-238, 2008
- (2) 奈尾幸子, 足立裕史, 佐藤重仁: B型肝炎キャリアの肝炎期に発見されたクッシング病患者の麻酔経験. 麻酔 57(6): 745-747, 2008
- (3) 足立裕史, 水野香織, 鈴木かつみ, 小幡由佳子, 土井松幸, 佐藤重仁: プロポフォールを用いた麻酔中, BIS値が10まで低下した1症例. 麻酔 57(6): 728-730, 2008
- (4) 足立裕史, 鈴木かつみ, 小幡由佳子, 土井松幸, 佐藤重仁: 術後の覚醒時, フルマゼニルの投与によってふたたび就眠を来した1症例. 麻酔 57: 901-903, 2008
- (5) 板垣大雅, 木倉陸人, 石田千鶴, 加藤弘美, 及川文雄, 岩本竜明, 平野和宏, 佐藤重仁: 寒冷凝集素症を合併した心臓第血管手術2症例の麻酔経験. 麻酔 57(7): 869-873, 2008
- (6) 足立裕史, 高木佑美紀, 成瀬 智, 鈴木かつみ, 小幡由佳子, 土井松幸, 佐藤重仁: 頭部外傷後のリハビリテーション中, 高血糖昏睡, ショックとなり救命し得なかった1症例. 蘇生 27(2): 138-140, 2008
- (7) 板垣大雅, 足立裕史, 鈴木かつみ, 小幡由佳子, 土井松幸, 佐藤重仁: 内頸静脈からの中心静脈カテーテル留置に際して血胸を合併した小児症例. 臨床麻酔 32(8): 1423-1425, 2008
- (8) 足立裕史, 鈴木かつみ, 板垣大雅, 小幡良次, 土井松幸, 佐藤重仁: 側臥位手術の上側耳下腺に生じたanesthesia mumps. 麻酔 57(9): 1150-1152, 2008
- (9) 成瀬 智, 足立裕史, 高田浩太郎, 佐野秀樹, 鈴木かつみ, 小幡良次, 土井松幸, 佐藤重仁: 右胃大網動脈冠動脈バイパス術後の胃切除に際し術後に重篤な不整脈を生じた2症例. 麻酔 57(9): 1147-1149, 2008
- (10) 足立裕史, 佐野秀樹, 鈴木かつみ, 板垣大雅, 土井松幸, 佐藤重仁: エコーガイド下中心静脈穿刺に際し, 動脈壁在血栓が障害となった1例. 臨床麻酔 32(9): 1551-1553, 2008
- (11) 鈴木かつみ, 足立裕史, 小幡由佳子, 北原晃一郎, 土井松幸, 佐藤重仁: オランザピンの偶発的休薬中に重度の糖尿病性ケトアシドーシスをきたした一症例. 日集中医誌 15(4): 567-568, 2008
- (12) 足立裕史, 佐藤重仁: 意図的な硬膜下麻酔と作用発現までの時間. 臨床麻酔 32: 1555, 2008
- (13) Adachi YU, Suzuki K, Itagaki T, Obata Y, Doi M, Sato S: A Recommended Solution for Avoiding Coring of a Rubber Stopper. Anesth Analg 107:1084, 2008 【麻酔・蘇生学】[1.8]
- (14) Adachi YU, Suzuki K, Itagaki T, Obata Y, Doi M, Sato S: Radial artery cannulation using the Insyte-A holding the device in cigarette-style. J Anesth 22: 331-332, 2008

インパクトファクターの小計 [1.8]

#### 4 特許等の出願状況

	平成20年度
特許取得数（出願中含む）	0件

## 5 医学研究費取得状況

	平成20年度
(1) 文部科学省科学研究費	3件 ( 310万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 ( 0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 ( 0万円)
(4) 財団助成金	0件 ( 0万円)
(5) 受託研究または共同研究	1件 (393.6万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	8件 ( 600万円)

### (1) 文部科学省科学研究費

- 1) 学術振興会科研費:基盤研究 (C) 「聴診音リアルタイム三次元カラー可視化技術の臨床導入」平成18年～20年 70万円 (代表)
- 2) 学術振興会科研費:基盤研究 (C) 「神経原性疼痛過敏における一酸化窒素cGMP系の脊髄での役割に関する研究」平成19年～21年 80万円 (代表)
- 3) 学術振興会科研費:基盤研究 (C) 「出血性ショック時の麻酔薬の薬力学的変化」平成19年～21年 160万円 (代表)

### (5) 受託研究または共同研究

- 1) バクスター(株) 「全身麻酔を要する成人手術患者を対象としたBLM-240の第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験」393.6万円 (2008. 1. 18-2008. 12. 31)

## 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	0件
(2) シンポジウム発表数	1件	0件
(3) 学会座長回数	1件	5件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	19件
(6) 一般演題発表数	7件	

### (1) 国際学会等開催・参加

#### 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表

- 1) 中島芳樹 中華医学会麻酔分科会 (西安) 招待講演 Anesthesia Simulator for education in Hamamatsu University School of Medicine 2008年 9 月

#### 4) 国際学会・会議等での座長

- 1) 佐藤重仁 The 8th Kyungpook-Hamamatsu Joint Medical Symposium (hamamatu) 2008. 09. 26

5) 一般発表

口頭発表

- 1) Uraoka M, Nakajima Y, Kurita T, Suzuki A, Sato S: Landiolol (short acting  $\beta$  blocker) decreases pulmonary edema in CPR with Epinephrine of rat asphyxia model. The 8th Kyungpook-Hamamatsu Joint Medical Symposium. 浜松市 2008.09.26

ポスター発表

- 1) Uchisaki S, Katoh T, Makino H, Ishii Y, Sato S: Drift of needle during internal jugular vein puncture and insertion of guide wire. The European Anaesthesiology Congress 2008 (ESA) デンマーク 2008.05.31-06.03
- 2) Itagaki T, Obata Y, Adachi Y, Shiraishi Y, Sato S: Sevoflurane-induced reduction of nitric oxide in the rat brain striatum is antagonized by nicotine and neostigmine, but not by NMDA. The European Anaesthesiology Congress 2008 デンマーク 2008.05.31-06.03
- 3) Mimuro S, Shiraishi Y, Takagi Y, Sato S: Rapid Decrease of Bronchial Cuff Pressure Is Useful for Detection of Bronchial Cuff Slipage. 2008 Annual Meeting The American Society of Anesthesiologists (ASA) 米国 2008.10.18-22
- 4) Uraoka M, Nakajima Y, Kurita T, Suzuki A, Sato S: Landiolol combined with Epinephrine decreases pulmonary edema in CPR of rat asphyxia model. 2008 Annual Meeting The American Society of Anesthesiologists (ASA) 米国 2008.10.18-22
- 5) Yamaguchi M, Shibata O, Sumikawa K, Shiraishi Y, Sato S: The effects of olprinone on the contractile response of ovalbumin-sensitized rat trachea 2008 Annual Meeting The American Society of Anesthesiologists (ASA) 米国 2008.10.18-22
- 6) Kato H, Suzuki A, Shiraishi Y, Nakajima Y, Sato S: Visual stethoscope to defect trachealtube position. 2009 Annual Meeting of the International Anesthesia Research Society, 米国 2009.3.14-17

(2) 国内学会の開催・参加

4) 座長をした学会名

- 佐藤重仁 日本麻酔科学会第55回学術集会 (横浜市) 2008.06.12-14  
佐藤重仁 日本ペインクリニック学会第42回大会 (福岡市) 2008.07.18-20  
五十嵐 寛 日本ペインクリニック学会第42回大会 2008.07.18-20  
佐藤重仁 日本麻酔科学会東海・北陸第6回学術集会 (岐阜市) 2008.09.13  
佐藤重仁 日本蘇生学会第27回大会 (長崎市) 2008.10.10-11  
佐藤重仁 日本臨床麻酔学会第28回大会 (京都市) 2008.11.20-22

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

- 佐藤重仁：日本心臓血管麻酔学会 理事  
佐藤重仁：日本麻酔・薬理学会 理事

佐藤重仁：日本麻酔科学会東海・北陸支部東海地区支部理事オブザーバー  
 佐藤重仁：日本臨床麻酔学会 理事  
 佐藤重仁：日本臨床麻酔学会第29回大会会長（2008.10－2009.10）  
 佐藤重仁：日本蘇生学会 理事  
 佐藤重仁：硬膜外麻酔研究会 理事  
 佐藤重仁：日本麻酔科学会 代議員  
 佐藤重仁：日本ペインクリニック学会 評議員  
 佐藤重仁：日本循環制御医学会 評議員  
 佐藤重仁：日本臨床モニター学会 評議員  
 加藤孝澄：日本麻酔科学会東海・北陸支部東海地区支部 代議員  
 加藤孝澄：日本ペインクリニック学会東海地方会 評議員  
 加藤孝澄：静岡県西部地区緩和ケア・ペインクリニック研究会 幹事  
 加藤孝澄：日本医学シミュレーション学会 評議員  
 中島芳樹：日本麻酔科学会東海・北陸支部東海地区支部 代議員  
 中島芳樹：日本医学シミュレーション学会 理事  
 五十嵐 寛：日本ペインクリニック学会 評議員  
 五十嵐 寛：日本医学シミュレーション学会 監事  
 鈴木 明：日本医学シミュレーション学会 評議員

## 8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	0件

### (3) 国内外の英文雑誌のレフリー

European Journal of Anaesthesiology 2回  
 Anesthesia and analgesia 1回  
 日本臨床麻酔学会誌（日本）20回（学会誌編集刊行委員長として年間約100本の論文  
 日本蘇生学会誌（日本）1回

## 9 共同研究の実施状況

	平成20年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

## 10 産学共同研究

	平成20年度
産学共同研究	1件

1. (株)コープランニング 呼吸音三次元可視化モニター装置の研究開発と製品化

## 12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. 聴診音可視化装置を用いての臨床研究：
  - a. 小児の片肺挿管時の早期発見
  - b. 分離肺換気の際に気管支チューブが気管に脱落した時のモニターとしての有用性
2. 孤立心筋モデルを利用した虚血再灌流障害の研究
  - a. デクスメデトミジン前投与，後投与の効果
  - b.  $\beta_1$  選択性ブロッカー，ランジオロールの効果
3. ブタモデルを使用したショック時の薬物動態：プロポフォールの血中濃度及び脳波の変化
4. ラットマイクロダイアリシス法を用いた麻酔作用機序の解明

## 13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

上記「12. 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要」1～4について，各種学会で発表あるいはジャーナルへの投稿が行われた。

## 14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

1. 聴診音可視化装置は国際学会，英文ジャーナルに投稿し，高い評価を得ている。